



ミニトマト編

病害虫注意報 2022年1月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

疫病・灰色かび病特集

疫病

多発条件：

低温多湿の条件下で発生が多くなる。

症状・注意点：

初め灰緑色水浸状で、次第に暗褐色大型病斑になる。多湿時には、表面に白色のかびを生ずる。感染～発病が短く、短期間で被害が拡大しやすい。



灰色かび病

多発条件：

気温20℃位のやや低温、多湿条件下で発生が多くなる。

症状・注意点：

花弁・果実・葉・茎に灰色のかびが発生する。果実にはゴーストスポットと呼ばれる白色円形の小斑点が生じる場合もある。



今月のおすすめローテーション

対象病害虫によって希釈倍数が異なる場合があります。ラベルの確認をしてから使用してください。

時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍数	使用時期	回数	影響日数 マルハナバチ
1月 ①	疫病・葉かび病	予・治 フオリオゴールド	800～1,000倍 (葉かび病は800倍)	前日	2回	—
	コナジラミ類・トマトヒゲダニ ハモグリバエ類・オオカバコガ	アファーム乳剤	2,000倍	前日	5回	2日
1月 ②	灰色かび病・すすかび病 葉かび病 等	予 アフェットフロアブル	2,000倍	前日	3回	1日
	コナジラミ類・アブラムシ類 ハダニ類・うどんこ病	フーモン <small>※野菜類登録</small>	1,000倍	前日	—	0日
1月 ③	灰色かび病・すすかび病 葉かび病 等	予・治 ファンタジスタ顆粒水和剤	2,000～ 3,000倍	前日	3回	1日
	コナジラミ類・アブラムシ類	チェス顆粒水和剤	5,000倍	前日	3回	0日

かいよう病について

伝染性の細菌病で、土壌感染・種子感染します。茎、小葉、がく、果梗、果実など各部に斑点が現れ、茎葉に萎凋症状が現れ、最終的に枯死する。

果実には鳥の目のような2～3mm褐色のザラザラした病斑が現れる場合も稀にあります。

現在登録農薬が少なく、使用資材の消毒、土壌の太陽熱・熱水消毒などが防除対策となります。



クプロシールド

適用拡大で

かいよう病・すすかび病で使用可能になりました！

- ▶ 細かい粒子で優れた効果！
- ▶ 使いやすく、汚れが少ない！
- ▶ 収穫前にまで使える！
- ▶ 使用回数のカウントなし！

かいよう病・すすかび病・葉かび病：1,000倍
疫病：1,000～2,000倍

